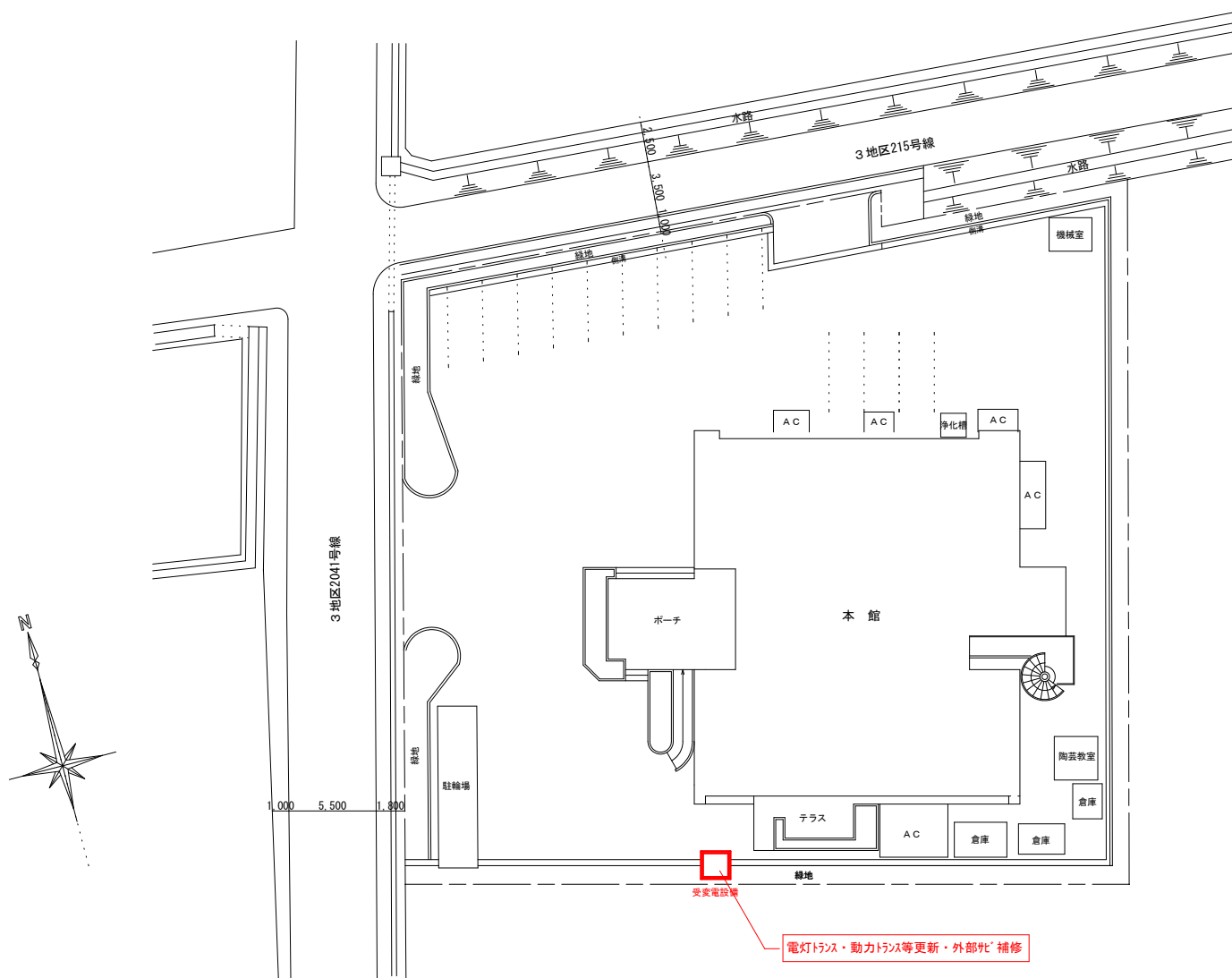


電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書						
I 工事概要						
1 建設工事名 大洲地区交流センター高圧機器改修工事						
2 建設工事場所 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 〒<input type="text"/>-<input type="text"/>-<input type="text"/> <input type="text"/>市<input type="text"/>区<input type="text"/> <input type="text"/>番地<input type="text"/> 大洲三丁目 地内 </div>						
3 建物概要						
建物(構)名称		構造	階数	延床面積(m ²)	備 考	
大洲地区交流センター		R C	2			
4 工事例目 (<input checked="" type="radio"/> のあるもの)						
<input type="checkbox"/> 電灯設備(電灯幹線、電灯分枝、コンセント分枝) <input type="checkbox"/> 動力設備(動力幹線、動力分枝) <input type="checkbox"/> 電気設備 <input type="checkbox"/> 変圧設備 <input type="checkbox"/> 変電設備 <input type="checkbox"/> 電力貯蔵設備(蓄流電源、交流無停電電源) <input type="checkbox"/> 周波数変換設備 <input type="checkbox"/> 屋内情報通信用設備 <input type="checkbox"/> 屋内交換設備 <input type="checkbox"/> 性能表示設備(出退・情報表示、電気時計) <input type="checkbox"/> 検査・警報設備 <input type="checkbox"/> 放送設備		<input type="checkbox"/> 誘導支援設備(音声誘導装置、インターホン、トイレ呼出) <input type="checkbox"/> テレビ共同受信設備 <input type="checkbox"/> 監視カメラ設備 <input type="checkbox"/> 駐車場管理設備 <input type="checkbox"/> 防犯・入退室管理設備 <input type="checkbox"/> 火災感知設備(自動火災報知、自動閉鎖、非常警報、ガス漏れ) <input type="checkbox"/> 中央空調制御設備 <input type="checkbox"/> 屋外屋内配電回路 <input type="checkbox"/> 屋外屋内通達回路 <input type="checkbox"/> チェレド電波障害対策 <input type="checkbox"/> 昇降機設備				
II 仕 様						
1 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、下記の国土交通大臣官庁官庁業務部監修の仕様書(平成 4年版)による。						
<input type="checkbox"/> 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) <input type="checkbox"/> 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) <input type="checkbox"/> 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) <input type="checkbox"/> 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) <input type="checkbox"/> 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) <input type="checkbox"/> 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)						
2 標準仕様の下の年次。31年度による。(建築工事標準仕様書は令和4年版)						
<input type="checkbox"/> 建築工事標準仕様書 <input type="checkbox"/> 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) <input type="checkbox"/> 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)						
3 設計事項に明記がない場合、又は相違がある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により決定する。						
(1) 質疑回答書(②～⑤に対するもの) (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 標準仕様書						
4 特記仕様						
(1) 項目は全て適用する。 (2) 特記事項のうち選択する事項は、 <input type="radio"/> 印の付いたものを適用する。 <input type="radio"/> 印のない場合は、※印を適用する。 <input type="radio"/> 印と <input type="radio"/> 印の付いた場合は、共に適用する。						
科目	項 目	特 記 事 項				
一般事項	① 法 令 そ の 他	この工事は、工事に際しては、法令等及び規定等に基いて施工する。官公署の検査を必要とする工程については、完成検査を受けることとし、必要な受検費用は発注者の負担とする。				
	② 工事実施情報の登録	竣工後又は契約の実施終了から起算し、発注者責任期間50万円以上の工事について、工事実施情報№「1」(ORR15)に登録すること。また、契約変更により工事費負担金が増加した場合、500万円未満になった場合は、すまじかに契約更新前の工事費登録を削除すること。なお、契約金額の変更登録は、完成時のみとする。				
	③ 工事の一時的中止	雇主は建設工事請負契約第20条の規定により工事の一時的中止の通知を受けた場合は、中止原因中における工事現場の管理に関する計画書(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承認を受けるものとする。なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。また、工事の施工を一時的中止する場合は、工事の続行に係る工事現場を保全すること。				
	④ 施 工 箇 所 の 権 利	施工箇所や資材の運搬に係る当該建築物に限る利用権は発注者に移譲するものとする。				
	⑤ 工 事 写 真	当施工工事写真撮影要領令和3年版及び国土交通大臣官庁官庁業務部監修の「当施工工事写真撮影要領(平成22年版)」による工事写真撮影ガイドブック「電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示により撮影する。				
施設・設備	⑥ 監 理 事 務 所	※ 設けなし ・ 設ける (・ 既存建物内の一部を使用する ・ 構内に新設する)				
	⑦ 工 事 用 水 電 力 等	本工事に必要な工事用水力・水等受入者の負担とする。				
	⑧ 工 事 用 仮 設 物	敷地内につくることが ※ できる ・ できない				
	⑨ 電 気 工 事 士	最大電力500kW以上の場合においても、第一種電気工事士より施工を行う。				
	⑩ 電 気 保 安 技 術 者	電気保安技術者の選定については、標準仕様書のほか監督職員が認める者とす。				
その他	⑪ 興 生 材 の 処 理	(1) 引渡しを要するもの () (2) 特別処理産業廃棄物 (・ PCB使用機器) (3) 資源再活用を図るもの (・ 蛍光灯ランプ ・ 白熱灯 ・ H I D 灯) (4) 発生材廃棄、集積場所が必要なもの ()				
	照度器具安定器にPCBが使用されている場合は、安定器を本体より分離し保管ボックス(鋼板製)に収納して建物管理者に引き渡す。また、安定器・コンデンサ等を廃棄しようとする場合は、PCB含有率の測定及び有害物質について確認し、測定の可能性が判定・確認できよう場合は、PCB廃棄物として保管受皿に入付指定された場所に保管する。					
	建設廃棄物の処理にあたっては建設廃棄物処理計画書を提出すること。					

11	分電盤、制御盤、配電盤等	<p>標準仕様書による仕様にする。</p> <p>(1) 扉の厚が、端子受け及び保護パネル板にあっては400mm、制御盤にあっては800mmをこえる場合は扉の厚はそれに両側面とする。</p> <p>(2) 扉等は、寸法・重量等を考慮した丈夫なものとし十分な耐久性を確保す構造とする。</p> <p>(3) 扉外側の腐蝕は水が浸入しない構造とし、計器部は網入りガラスとする。</p> <p>(4) 扉壁の塗色は次のによる。</p> <p>※ マンセル 2.5/9.1 ・ 塗色なし ・ 指定色 ()</p> <p>(5) 扉外側の開閉部及びバルブボツスは、次のによる。</p> <p>※ 鋼製 ・ 樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 鋼皮による</p> <p>(6) O型の端子部開口部又は冷却口又は冷却口を設ける。仕様はメーカー仕様にて準ずる。</p>
12	電線類	※ 環境対策型電線 (E・M電線) ・ 非環境対策型電線 (ビニル電線)
13	架空電線	特記なき電柱の、腐食、がいし、支線その他の腐蝕材は、電力会社仕様による。
14	電力・電話の引込み	電力及び電話経路引込線の引付方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打合せの上監督員との協議により施工する。また、外務工事負担金などの設置報告を監督職員に対し送付に行かう。申請書作成費を行い、申請手続に要する費用は発注者の負担とする。
15	最上層の埋込配管	最上層の天井スラブへの埋込み配管は、原則として廻けるものとする。
16	位置ボックス等	ケーブル送り配線となる天井埋込照明器具、スピーカ及び感知器の位置ボックスは不要とする。
17	防護柵	屋外キュービクルの周りに防護柵を設置する場合は、高さ1.8m以上とする。 建築工事に含まれる場合には協議を要する。
18	地中電線	<p>(1) ハンドホルの蓋 地中配線路の設置には、破壊容易と次の事項を確保しとする。 ・ 地中配線路の用途 (「電気」、 「通信」等) ・ 地中配線の埋設深さ等 地中配線が特記なき埋設深さは0.6m以上とする。 (2) 次の箇所には原則として埋設槽を設ける。 ア 建物及びハンドホルへの引込及び引出口付近 イ 地中線の曲折箇所 ウ 直線部分では30mごとに1m (30mに満たない場合はその中間に1箇) エ 連絡箇所直前</p>
19	自立型アンテナマストのベースアンカー	自立型アンテナマスト及び自立型避難設備のベースプレートのアンカーボルトの設置間隔は500mmを標準とする。
20	電線保護用材	<p>(1) 合成樹脂製又は電線管 (P・F管) 及び付属品 タイプ2を使用するものとする。 電力用位置ボックス類は、合成樹脂製又は鋼製とする。樹脂製とした場合は管内に接地線を付加し、当該ボックスにボンディングを施すものとする。 ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。</p> <p>(2) 金属製型管 次の管路は、塗装を行う。ただし、溶接部めっき加工された電線管を除く。 (※ 屋外 ※ 配管管を除く屋内で見えが良好部分)</p> <p>(3) ケーブル経路の保護管は、標準仕様書金属製管製、合成樹脂製配管の項による。</p> <p>(4) 管電線敷の管の数 ケーブルを収容する管路の1区間の区間箇所は3箇所以内で曲げ角度の合計は180°以内とする。ただし、通線及び管内の電線の引き易が容易に行えるように施工する場合はこの限りでない。</p> <p>(5) 壁面配管等で人が容易に触れるおそれのある部分 (2m以内) の配管支持材には保護キャップ等の安全措置を施すものとする。</p>
21	照明用ポール	<p>照明用ポールは、次のによる。</p> <p>※ 配線用遮断器又はカットアウトスイッチを設ける。仕様についてはメーカー仕様にて準ずる。</p> <p>・ 配線用遮断器又はカットアウトスイッチが内蔵できるものとする。</p>
22	配線器具	<p>(1) スイッチは原則としてネーム付きとし、器具の場所を表示する。</p> <p>(2) フラッシュプレート ※ 新金属 ・ ステンレス ・ 合成樹脂 (3) フロアプレートは水平低気密付 (空圧防止形または工具挿付型) とする。 ※ アルミ製 ・ 鋼製 (4) 臭電機回路に接続されるコンセントは、原則として赤色とする。 (5) コンセントには印番号を表示する。</p>
23	屋外の支持金物	電線管等の屋外支持金物は、原則として次による。 ※ ステンレス製 ・ 亜鉛メッキ
24	機器架台	架台の形状及び寸法は規格を示す。
25	照度測定	<p>照明器具を新設、改修した部屋の照度 ※ 測定する ・ 測定しない 測定箇所等は監督職員の指示による</p>
麻枝市市民協働部協働政策課		作成
大洲地区交流センター高圧機器改修工事		図章
日付	87年5月	編入
氏名	電気設備工事特任技師書	1/2
		3-1

平面図 s=1/300



受変電設備

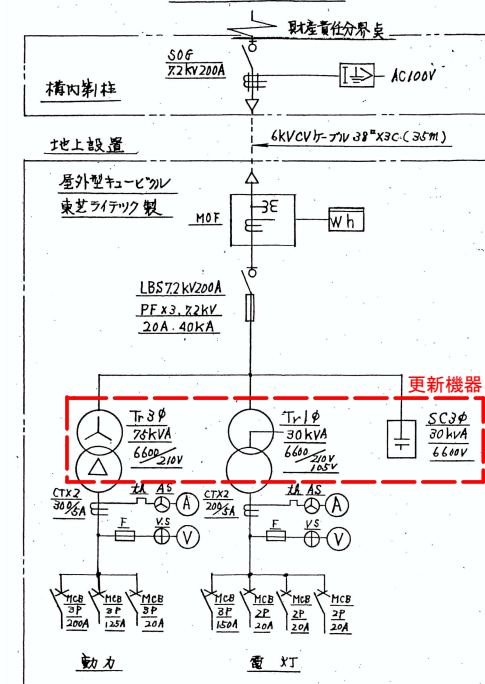
電灯トランス・動力トランス等更新・外部配線補修

改修箇所図 s=NOSCALE

単線結線図

3φ3W 6600V 60Hz

業務用電力



工事名	大洲地区交流センター高圧機器改修工事		
工事箇所	藤枝市 大洲三丁目 地内		
図面種類	図 示		
縮尺	図 示	図面番号	3 葉中 3
測量年月日 . . .	設計年月日 R7.5.27		
藤枝市 市民協働部 協働政策課			